

★当日最大は28センチ、いつもはこんなものじゃない!



▼下浦沖の水深は20メートル前後だった。これからはもっと浅場へ

▲こちらは27センチのオス



三浦半島久比里出船

夏カワハギは数より型 小さなアタリを取る おもしろさも

◀型がよくてもアタリは微弱。常に穂先を注視

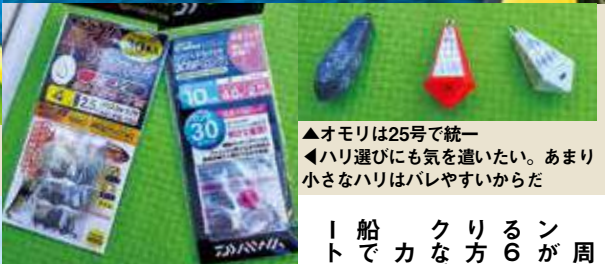
撮影◎本誌編集部



◎「バれるなよ～」と言いながら慎重なヤリトリ



▲産卵期に多いのはメス、それでも20センチオーバー
◀下バりに掛かることが多かった



▲オモリは25号で統一
◀ハリ選びにも気を遣いたい。あまり小さなハリはバレやすいからだ



▲良型はほとんどがオス
◀15センチ以下はほぼ交じらなかった

周年狙えるカワハギのベストシーズンは秋から冬とすれば、産卵期を迎える6月以降はアタリ自体が小さく、釣り方に工夫が求められるややマニアックな季節といえる。
カワハギの聖地、三浦半島久比里出船では久里浜〜下浦沖の水深15〜20メートルがポイント。10枚も釣れば上出来といえる反面、30センチを超える大型を狙えるのもこの時期ならではの、自己記録に挑戦してみるのも楽しみの一つである。
(詳細は56ページ参照)

◎三浦半島久比里・巳之助丸
白井 浩喜船長